

札幌オリンピックの 開催に関連して

■1936年（昭和11年）

幻のオリンピック

この年、1940年のオリンピック開催地として東京が選ばれました。当時は、夏季大会の開催国の都市に冬季大会の開催権が優先的に与えられていたため、2年後の1938年3月に、札幌での冬季大会の開催が決定しました。

しかし、日中戦争の激化を受けて、同年7月に日本政府が東京、札幌の両オリンピックの開催権を返上。1940年の札幌オリンピックは「幻のオリンピック」となりました。

■1964年（昭和39年）

第10回大会（1968年）に立候補するも、投票で敗れて落選

■1966年（昭和41年）

札幌オリンピック（1972年）開催決定

開催権の返上や落選を経て、ようやく札幌でのオリンピック開催が決定！街中が歓喜に沸きました。



▲札幌オリンピックの開催決定を受けて行われたパレード

■1971年（昭和46年）

地下鉄南北線開通（真駒内～北24条間）

オリンピック会場と都心部を結ぶ高速・大量輸送手段として、地下鉄が登場。



■1972年（昭和47年）

2月 札幌オリンピック開催

4月 札幌市が政令指定都市へ区制施行により、南区誕生



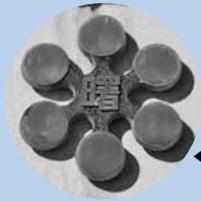
▲当初は、後の真駒内緑小学校の校舎を区役所の仮庁舎としていました。

大会運営本部



現 真駒内曙中学校

中学校の校舎として使用するために建設された建物を、オリンピック期間中は運営本部として使用しました。真駒内曙中学校の校章には、札幌オリンピックのシンボルマークにちなんだデザインが採用されました。



真駒内曙中学校の校章

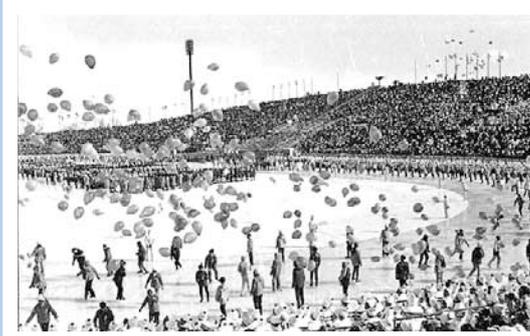
競技会場



現 真駒内公園

屋外競技場では開会式やスピードスケート、屋内競技場では閉会式やアイスホッケー、フィギュアスケートなどの競技が行われました。

開会式では真駒内などに住む小学生848人が「風船スケーター」として競技場を滑走。たくさんの風船で会場を華やかに彩りました。



札幌ウィンタースポーツミュージアム

札幌オリンピックを
体験してみよう！振り返ってみよう！

札幌ウィンタースポーツミュージアムには、スキー（ジャンプ）やスピードスケート、フィギュアスケート（スピン）などの疑似体験ができる「体感・体験ゾーン」や、オリンピックの貴重な資料をそろえた「展示ゾーン」などがあります。

所在地 中央区宮の森1274（大倉山ジャンプ競技場内）
電話番号 641-8585（大倉山総合案内所）
開館時間 9:30~17:00（11/1~4/30）、9:00~18:00（5/1~10/31）
休館日 なし（年中無休）
入館料 大人 600円
中学生以下 無料

※1階「体感・体験ゾーン」は無料です。ただし混雑状況によって、待ち時間が長くなったり、利用できない場合があります。

